

ぼちぼちいこっ！

1998

「まぐまぐ」を使ってメールマガジンを出し始めたのが、1998年も押し詰まった頃。

この「ぼちぼちいこっ！」の前に「子育て・学校・子ども達……」というメールマガジンを出していましたが、そんな堅苦しいものではなく、自分の心の揺れを記していきたいと思ったからです。

18年間関わってきた、教育現場を離れ、家にいるようになってから、一年半の事でした。

今読み返すと、赤面することや自分の未熟さばかりが目立ちます。

ダメですね。

随分とゆーたを苦しめてしまっていました……。

あれからもう三年半。ゆーたは中学2年生になりました。

「中学2年」と言っても、小学校5年生の2学期の終わりから、学校に行かなくなりました。

毎日ゆーたと顔を合わせていると、ついついイライラしたりすることも多く、落ち込むこともたくさん……。いつしかこの「ぼちぼちいこっ！」は、僕自身を振り返るためになくてはならないものになっていました。

ゆーたももうじき14歳。

確実に大きくなっています。

- 目次 -

1998年11月	3
「ごめんなさい」が言えなくて -1998/11/25(水) 創刊号	3
「ほめてやって下さい.....」 -1998/11/26(木) Vol.2-	4
友だちを呼び捨てにするように -1998/11/27(金) Vol.3-	5
一足早いクリスマスプレゼント -1998/11/29(日) Vol.4-	6
炊いたニック (by ATOK) -1998/11/30(月) Vol.5-	7
1998年12月	8
授業参観.....あぁ、恥ずかしっ -1998/12/01(火) Vol.6-	8
風邪をひいた -1998/12/2(火) Vol.7-	11
お前のままでいいんだよ -1998/12/03(木) Vol.8-	11
ただ見ていることしかできない辛さ -1998/12/04(金) Vol.9-	12
「U-TA」 -1998/12/05(土) Vol.10-	13
ハードディスクがああああああっ！ -1998/12/06(日) Vol.11-	15
「死にたい」なんて言ったらダメっ！ -1998/12/07(月) Vol.12-	16
あの頃 -1998/12/08(火) Vol.13-	17
「ウンチい！」(汚くってごめんなさい) -1998/12/09(水) Vol.14-	18
忘年会シーズン -1998/12/10(木) Vol.15-	20
ウンチは続くよ、どこまでも -1998/12/11(木) Vol.16-	20
ランチバイキング -1998/12/12(土) Vol.17-	23
1センチメートル2 -1998/12/13(日) Vol.18-	24
あんなに喜んだのに -1998/12/14(月) Vol.19-	25
どひゃひゃひゃひゃあ〜っ (意味不明) -1998/12/18(金) Vol.20-	26
「3周800円があ.....」 -1998/12/19(土) Vol.21-	28
イルカの死 -1998/12/20(日) Vol.22-	31
冬休み突入！ -1998/12/21(月) Vol.23-	32
自分で確かめてっ！ -1998/12/22(火) Vol.24-	33
スモールソルジャーズ -1998/12/23(水) Vol.25-	34
クリスマスの風景 -1998/12/24(木) Vol.26-	35
クリスマスの風景2 -1998/12/25(金) Vol.27-	37
通知表 - あゆみ - -1998/12/26(土) Vol.28-	38
年賀状・窓拭き・配水管 -1998/12/27(日) Vol.29-	39
みくろあどべんちゃあ -1998/12/28(月) Vol.30-	41
ゆうたは「がまん」をおぼえた -1998/12/29(火) Vol.31-	43
1998年の終わりに -1998/12/30(水) Vol.32-	44
お墓参り -1998/12/31(木) Vol.33-	46

1998年11月

「ごめんなさい」が言えなくて -1998/11/25(水) 創刊号

オーボエのリード。

どういうわけかオーボエにえらく興味を持ってしまったゆーた。

担任の先生の旦那さんが、浜松の交響楽団でオーボエをやっているということからだろうか、「オーボエ、オーボエ」といつも騒いでいる。

「リコーダーが吹けないと、オーボエなんか吹けないぞ」

そう言って、僕は何とかリコーダーの練習をさせたいと思ったりするのだが、いっこうにこの手には乗ってこない。

突然、下からおばあちゃんの呼ぶ声がした。「ちょっと来てよ～」と。

担任の先生からもらったオーボエのリードが無くなった、と騒いで、手に負えなくなったらしい。

「リードが無くなったのは、私のせいだ、何とかしろ！って言ってきかない」

そうおばあちゃんは言った。

今朝、食卓の上を片づけていたときに、何か見たぞ……。

「ゆーた、2階にあるかもしれないぞ」と2階へ。

「あ、これだ！」

食卓の上にリードは転がっていた。

「さあ、おばあちゃんに謝ろう」

「きちんと『ごめんなさい』って言うんだよ」

そう言って再度一緒に下に降りていった。

「さあ、おばあちゃんに謝んなさい」

「ごめんね……」とそっぽを向いて言った。

「ダメ、ごめんなさい、ってきちんと言うの」

「ごめんなさいね」……。相変わらず横を向きながら言った。

「ダメ、おばあちゃんを見て、ちゃんと言うの！」

「ごめんなさい」……。目に涙をためながら、ようやくそう言った。

その後、おばあちゃんは又、

「ちゃんと探さないから、何回も言ったのに……」

とか言い出したので、ゆーたはたまらなくなって、泣き出してしまった。

「もう、お終い」

「ちゃんと探さなかったゆーたが悪かった。でも、リードは見つかった。それでおばあちゃんにちゃんと謝った。それでお終い！！ おばあちゃんも、これ以上は言わないで」

そう言って僕は2階に上がっていった。

なかなか謝れないんだなあ……。

上辺の言葉ではなく、心から謝ることが出来るようになって欲しいな。

【ま、ぼちぼちいこっ！】～ご挨拶～

我が家は5人家族。僕の両親と、僕、女房、そして息子（小4）
生後直ぐに手術をした息子のこれからを考え、静岡県沼津市の教員を辞め、実家の浜松で2世帯での暮らしが始まったのが、今から8年前のことです。

僕は元私立高校教員、女房は高校教員。
「教員は、家でも先生をしている」とよく言われます。
僕が仕事を辞め、息子と向き合うようになった当初は、そのものだったかもしれませんが。今でも、時々僕の中に染みついている「先生」がむっくりと顔を出すことがあるような気がします。

どうしても焦ってしまうときがあります。
「ぼちぼちいこっ！」というタイトルは、そんな自分の思いにブレーキをかける気持ちが込められています。
息子の子育てを通して、自分の子どもから「子ども達」に視野が広がっていけばいいな、と思っています。また、皆さんとの意見交換を通して、自分の視野をもっともっと広げていきたいと思っています。

率直なご意見、ご感想をお待ちします。

そうそう、「日刊」が基本ですが、無理はしません。
「書けない時は書かない」と思っています。焦らず、あわてず、ポチポチといきたいと思えます。

片山隼君の交通事故。不起訴処分を取り消して起訴する、との報道。
いずれにせよ、隼君が帰ってこない事には変わりはないが.....。

「ほめてやって下さい.....」 -1998/11/26(木) Vol.2-

夕食前、学校の担任の先生から電話があった。
ナンバーディスプレイで、学校からだとなり深呼吸してから電話をとった。電話の中身は、今日の持久走のことだった。

「ゆーたくん、帰ってきた後の様子はどうでしたか.....？」
「ええ、いつもと変わりなく帰ってきましたけれど.....」
と返事をしつつ、不安がよぎった。

電話の内容はこうだ。

5時間目の体育の時間は、4, 5年生合同で持久走のタイムをとった。
ゆーたは、気持ちが乗らず、1, 2週目は「走るのはいやだ」「どうしてこんなことするんだ」とかなり興奮しながら走った。しかし、体育の先生や既に走り終えた友だちと一緒に励ましながら走ってくれて、最後まで走り通した。

最初の様子では、1週でやめさせようかな、と思ったけれど、今日は、最後まで走り通したことを、まずはほめてやって下さい

ということだった。

泣いたり、わめいたりしながら走っている（歩いている）ゆーたの姿が、目に浮かんだ。

去年もそうだった。

初めから自分には出来ない、とあきらめてしまっているのか、力無く走っていた。特に、女房の姿を見つけると、途中でコースを外れて女房の方へ寄って行ってグズグズ言い出した。

担任の先生が、声をかけてくれて、何とかコースに戻り最後まで走り終えることはできた。順位は一番最後だったことは言うまでもない。

でも、良く走り終えたな、と思った。

しかし、同時に自分の中に、何とも言えない恥ずかしさがあったことは、否定できなかった。

ゆーたが可哀想、というのではなく、僕自身が恥ずかしい、とってしまったのだった。

今年も持久走大会が、来週の土曜日に迫ってきた。

女房は、「今年は見に行かない方が良いと思う」と言っている。

今、ゆーたは持久走大会を前にして、あの子なりにくじけそうになる気持ちと時には顔をそむけ、時には向き合いながら、毎日を過ごしている。

僕は、「恥ずかしい」と思う気持ちと向き合っている。

そしてもう一つ。

頑張っって欲しいと思いながら、どこまで頑張ることを要求して良いのだろうか.....？ そのことが頭から離れずにいる。

「知識は好きなだけ好きなことを覚えればいけれど、知恵の伝授は難しいです。」(創刊号を読んで早速メールをくれた友人のメッセージより)

友だちを呼び捨てにするように -1998/11/27(金) Vol.3-

今日も我が家に、友だちがやってきた。

最近では暗くなるのも早く、寒くなってきたせいか我が家はすごぶる静かな夕方を過ごすことが多くなった。

ひと頃の、家に帰ったら子ども達が10人！などという、凄まじい光景は大分なりを潜めてきた。

一方、子ども達同士の中でも、次第に

「はいやだ」

という意識が芽生えてきたのかもしれない。

家に来ている子ども達が、他の子ども達の悪口を言うことが増えてきたような気がしている。

「ってむかつくらあ？」 「ら」というのは方言(注)

「xxもそうだら？」

あまりにも度が過ぎると、おやつ時間などに、

「おじさんは、そういうの良いとは思わないな。絶対に」

と言ったりすることもある。

で、今日も遊びに来ていたK。

彼はとっても元気な子どもで、ホントによく遊びに来る。

休みの日も「お父さんが家にいるから、余所へ行って遊ぶんだ」と口にする。

「いいなあ、いろんな所に連れていってもらって」とも。

お母さんは、ファミリーレストランで働いているため、日曜日は休みではない。

どこかに出かけるときは、Kに声をかけるようにしている。

最近、彼のことを「K」とゆーたが呼び捨てにしているのに気が付いた。

また、彼も我が家に来るときは「ゆーたあーっ！」と言って、2階に駆け上がってくる。

「オイ、最近、呼び捨てにしてるんじゃない」

「ウン、そーだよ」

「友だちだから、呼び捨てにしあっても良いことにしたんだ」

「じゃ、学校で呼び捨てにしあってるのか？」

「ウン、そーだよ。友だちだモン」

ゆーたが呼び捨てにする「友だち第一号」だった。(^^)

あやです。6さいです。
ゆーたくん、がんばってね。
ぜったいはやくはしれるよう
になるよ。
おうえんしているからね。
あやちゃん、ありがとう。まだ、ゆーたにつたえてませんが、
たぶん、ゆーたは はずかしがると おもいます。

一足早いクリスマスプレゼント -1998/11/29(日) Vol.4-

土曜日、東京に出かける前に、

「ママあ、あのさあ」とゆーたの雰囲気をも真似して女房にすり寄った。

女房は、何やら毛糸のセーターをいじくっていた。

「何っ！気持ち悪い！」

「今日の夕方、Tom i (仮名)さんも、東京に行くから一緒に秋葉原に行くことにしたんだ。ちょっと買いたいものがあるんだ。クリスマスも近いから、買って欲しいなあ、と思うんだけどあ……」

「あのねえ、冬は色々とお金が必要なの！ダメ！」

「だって、毎日遊びに来る子ども達のおやつだって、俺が買ってきてるんだよ。それに、写真の現像代とか、細々した生活費を結構出してるんだよ」

「何、言ってるの！」

「いや、パソコンのハードディスクの容量が足りなくなってきたからさあ。それにヨシコだって、使うでしょ？」

女房はこちらを見ようともせず、毛糸をほぐしていた。

「だって、秋葉原の小さな店に掘り出し物なんかあるんだよ」

しばらく黙っていた女房はニカッと笑って、

「わかった、じゃあ、2万円お小遣いあげる！ その代わりい……」

……これが怖いんだな(独り言)

「今度、私のクラスで卒業文集作るから、その手伝いをくれる、って約束で買ってても良いよ」

たああっ！

きっとこき使われるんだらうなあ、と思いつつ、目の前のにんじんに目を奪われた僕は、もう、嬉しくて

たまらなかった。

その時、なぜかしら、小さい頃、お小遣いを貰って、手に50円をしっかりと握りしめて、走っていった駄菓子屋の風景が、突然、目に浮かんだ。

何しに東京に行ったか？それは、またのお楽しみ。

あ、そうそう。何と、その時オームの店でハードディスクを買いそうになったのだった！ と、この話は週刊メールマガジンの方で、たっぷりと.....。

人混みの中をあちこち歩き回り、狭い階段を上り下りして、足がたまらなく疲れた！でも、少し痩せたか？

「OSMさんは、秋葉原の迷惑や(爆)」

(秋葉原に連れていってくれた、Tomi、おかP)

むむむむむ.....確かに！

秋葉原の人の多さにびっくり。アチコチで人とぶつかったり。(;)

炊いたニック (by ATOK) -1998/11/30(月) Vol.5-

「炊いたニック」じゃない、タイタニックのビデオを女房が借りてきた。

先週、クラスの生徒が

「タイタニックのビデオを買ったよぉ～」と嬉しそうに話しかけてきて、「うわぁ、映画見たかったんだよね～」とその時、返事をしたそう。そしたら、今日、その生徒が「貸してあげる！」と言って持ってきてくれたのだった。

おお～！何と可愛い生徒さん！

結構、まっとうに担任をしているんだなあ、

と少し感心したりして.....。

二人で、見たいね、見に行きたいね、と言いながら結局見られなかったタイタニックだが、我が家のテレビに登場と言うことに相成った。

ゆーたと一緒に布団に入ったのが、8時半過ぎ。

今日は帰ってくるなり「出張で疲れた～」と言っていたのに、9時過ぎにモゾモゾ起き出してきた。

「ほら、早く観て返さないといけないジャン」

結局僕もつきあわされることになった。

(僕も観たかいことは観たいのだが.....)

氷山がタイタニックにぶつかった所で、上巻のビデオが終わった。

さて、後半！と言うとき、

「明日早いから、寝るわ～」

「明日も一緒に観よ！」

「あ、そうそう、ご飯やってないでしょ？ 2合で良いからね」

「ファインヒーターの灯油、もうすぐ無くなるからね～」

そう言うだけ言うと、さっさと寝てしまった.....。

:*:~!° 。.:*:~!° ° !~*:~!° .:~*:~!° 。.:~*:~!°:~*:

東京に行ったとき、東京駅の側の「ポケモンセンター」に寄ってきた。いやあ、たくさんあるなあ……。でも、ゆーたのお気に入りの「マルマイン」は影も形もない。まあ、マルマインを好きだ、つてのはあんまりないだろうからなあ。ゆーたくらいかもしれないなあ……。

ということで、ポケモンの文房具を買ってきてあげた。

- ・ピカチューのホッチキス
- ・フシギダネの鉛筆削り
- ・プリンテープカッター
- ・ニョロモのメジャー
- ・コイルのマグネット

がセットになってしめて1980円也。

「またくだらないの買ってきて～」と言われるかなと思っていたが、意外と反応は良く、「あら、良いじゃない」ときた。 - ホッ その1 -

ゆーたはプラモデルが好きなのだが、今日は貰えるとは思っていなかったためか、素直に喜んでくれた。 - ホッ その2 -

ピカチュー達が、今、ゆーたの机の上に並んでいる。

サーバーがダウンしているのかどうか分からないが、全然ホームページに繋がらない。メールも読めない！ストレスがたまる！

このところ、ホント繋がらなくなってしまっている。もうイヤ！

1998年12月

授業参観……ああ、恥ずかしっ -1998/12/01(火) Vol.6-

今日は息子の授業参観会。5時間目に「道徳」の授業。もう朝から憂鬱で仕方がなかった……。

1時50分、授業が始まる5分前に教室に着いた。

顔なじみの子ども達が寄ってきて、ポケモンの話から、ゲームの話、今日のゆーたの様子等々をとくとくと話してくれた。

いやあ、ありがと！ほれ、授業始まるぞ！と追い返す。

さて、授業が始まろうとするその時、仲のいい友だちが

「水飲んできま～すっ！」と言って廊下に出ていった。その後2～3人の子どもが続き、予想したとおり、「あ、オレもっ！」と言ってゆーたも飛び出していった。 (--;)

案の定、ゆーたは一番終わりに教室に入ってきた……。

いつもと違うこざれいな格好をして、参観会を迎えた担任の先生も、出鼻をくじかれたようで、ちょっとぎこちなかった。ったくもう……。

ゆーたの机の上には、他の教科書とノートが置いてある。

隣近所の友だちが、
「これだよ」「とか、早くしまいなよ」とか手伝ってくれている。

やっとこさっとこ、道徳の教科書を出したゆーた。

しかも黙って出しているわけではない。最近お気に入りの「六甲のいいみずう〜」等と、小さく口ずさみながら準備をしているのだ。(--;)

で、教科書を出し終えた途端に、先生の話など何処吹く風、ひたすら教科書を読み始めた。(--;)

ゆーたの学校は道徳の研究指定校だそうで、今日は、「おかあさんのせい求書」というヤツだった。

話の中身はこうだ、

「けんじ君が、おかあさんに留守番代100円。お遣い代100円。風呂の掃除代100円、計300円のせい求書を書いた。

夕ご飯の時、300円と一緒におかあさんからのせい求書が置いてあった。病気とその看病代0円、洗濯代0円、食事代0円……。合計0円。

これを読んだけんじ君の目には涙がにじんできた」

ということだ。何を言おうとするかはわかるだろう……。

先生は教科書を閉じさせて、話の筋を確認していった。

その後、先生は「けんじ君がせい求書を書くとき、どんな気持ちだったか書いてみよう〜」と。

子ども達は一生懸命書き始めた。教室の中に鉛筆のカリカリ言う音が響いた。ゆーたも何か書いている。でも、中身はなんとなく想像が出来る。

そのうち、調子に乗ってきたのか、ゆーたは鼻歌を歌いながら書き始めた。決して大きな声ではないが、静まり返った教室中に聞こえるには、十分な大きさだった。(--;)

さて、発表になった。

最初の内はゆーたも手を挙げなかった。その内、しゃべりたくなかったのか、手を挙げた。

発表をした子が次の子を指名するやり方だ。

ゆーたは一生懸命気を引こうとする。

4年生ほどにもなれば、どんな答えが要求されているのかも、わかってくる頃だ。

何人かの子どもは、授業を展開する上で「期待通り」の答えを発表した。

ついにうずうずしているゆーたを指名した子がいた。

……何を答えたかは忘れた。ただ、先生がフォローできないくらいの頓珍漢な答えだった。

次に「お母さんの0円、というせい求書」を見て、けんじ君はどう思ったか書きましよう〜、というお決まりのパターンに授業は展開していった。

「違うよ、そんなこと聞いているんじゃないよ。」

ゆーたの横の友だちが、小さいけれどはっきりと聞こえる声で言っている。

アチャー……。

ゆーたの答えがなんとなく想像できた。

ゆーたは食事代とか、洗濯代とか看病代をいくらくらいか、換算しているのだと思った。

例によって、発表が始まった。
またしても元気良くゆーたは手を挙げた。
頼むから指名しないでくれ～。

そんな僕の願いも空しく、ゆーたは指名され、僕の予想したとおりの答えを発表した。 (--;)

僕はひたすら早く授業が終わることを願っていた。

授業もまとめの時間になってきた。
「家族愛」というのが本日のテーマ。
先生はあるお母さんに子どもへの手紙を書いてもらっていた。
それを読んで終わりにしようというのだった。

じいんと来る手紙だった。

ゆーたは机に突っ伏して寝ていた.....(--;)

「終わりましょう」という先生の声と共に、友だちに起こされ、大きなあくびをして参観会は終わった。

授業が終わって、子ども達が集まってきて、
「今日、遊びに行くよ～」とか「ミュウつくって」とか口々に言ってくる。
その時は僕も開放感に浸り、
「おお、いいよ。ミュウは100円だな」等と話をしたり.....
かくして参観会は終わったのだった。

ホントに恥ずかしいったらありゃしない。

:*:~'° 。.:*:~'° ° '.:*:. .:~'° 。.:*~'~*:

45分の授業時間の長かったこと。
僕が「恥ずかしい」と思っても、ゆーた自身が「恥ずかしいこと」と体感できない限りは、怒鳴りつけたとしても何の意味も持たない。
「周りの状況がわからないことは恥ずかしいことなんだよ」ということは言っても、ゆーたがわかるまでは、まだ相当な時間がかかるだろう。

それまで僕は「親としての恥ずかしさ」と仲良くしなければならぬ。

家に帰って女房に今日の参観会の様子を伝えた。
「もお、めっちゃ、恥ずかしかったぞお」と。

でも、周囲の期待通りの答えを考えようとするより、自分の思いを口に出来ることの方が大事じゃないのかなあ、と二人で話していた。

無論、周囲の状況を判断する能力とは、全く別の問題として.....。

タバコ代値上げ。厳しい～。でも、止めない。いや、やめられない。

いよいよ師走。今年も一年が終わろうとしている.....。

風邪をひいた -1998/12/2(火) Vol.7-

風邪を引いてしまった。
今も鼻をすすっている。
頭がぼーっとしてしまっている。
喉がいがらっぽい。
だけどタバコは吸っている。
換気扇の下で吸うのはかわりはないが.....。

ゆーたの持久走大会は後、3日後に迫ってきた。
明日は、また、当日のコースを走ってタイムを計測する、とのこと。
相当プレッシャーがかかっているんだろうな、と思う。

ホントは「頑張れ」ってことについて書きたいと思ったのだけれど、頭が回らないからやめる。

何か大変なことを始めてしまったのかもしれない.....。

昨日も少し触れたけれど、

「まなびや」～めるまがで学ぼう！～

<http://www.iris.dti.ne.jp/~osamu-s/>

という「子育て、教育、学習」に関するメールマガジンを紹介するサイトを開設して、プレスリリースも出した。そしたら、まぐまぐの運営者の深水さんからはメールをいただき、掲載希望のメールは来るわ、登録内容の変更依頼は来るわ、ってな感じで、てん てこまいの一日だった。

おまけにこの風邪.....。

わお～！ってなモン.....。

あ、あ、ダメだ今日は！

もう寝る.....。

お前のままでいいんだよ -1998/12/03(木) Vol.8-

本日配信された、ウィークリーまぐまぐに『まなびや』の事が紹介された。
HPへのアクセスが、この2日間で、3000人を越えてしまっている。
ホント、大変なことをしでかしたのかもしれない.....(汗)

「そんなに手を広げて大丈夫？」と心配してくれる友人もいるが、朝飯の片づけをした後や、昼飯を食べながら、見るともなくワイドショーを見ているよりはよっぽど良いと思っている。

(あ、いつもゴロゴロワイドショーを見ているわけじゃないですよ)

昨日、今日とメールが次々と来て、それに対して返事を送ると、又新しいメールが届いていて.....。賽の河原の石積み状態になっている。

でも、いろいろな人が、いろいろな角度からアドバイスをしてくれたり、意見を送ってきてくれる。
全く僕とは違う視点から、物事を見つめさせてくれる。

インターネットの広がりと同時に、自分自身が広がっていくのを実感できる.....。嬉しいことだ.....。

「いろいろな人がいるんだ」と思った。

この感覚は久しぶりの感覚だ。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*..：*：*！° 。：*：*...*：

ゆーたが小学校の2年生の時、なかなか集団に馴染めずに精神的に不安定になり、何度も学校を飛び出してしまったことがあった。

その度に学校に出向き、担任の先生や、学年の先生、生活指導の先生、果ては校長先生と話をしてきた。

その時に感じた感覚と似ているような気がする。

「集団を維持していくためには、はみ出してしまう子ばかりに手をかけてはられない」というのが学校の基本的な姿勢だ。これはよくわかる。そんな一人の子どもに構ってられないのだ、学校と言うところは。

「何かあったら直ぐに電話を下さい。学校に出向いてゆーたの面倒を見ますから……」

僕が携帯電話を使うようになったのもその頃からだった。

携帯電話がなる度に、ドキっとした。

「集団生活」という型に無理矢理ゆーたをあてはめることが、学校に通う条件というならば、そんな学校には見切りをつけよう、というのが当時の僕たち夫婦の結論だった。

「今のままのお前のままで良いんだよ」と何度も何度も自分に言い聞かせていた。

でも、少しずつ、少しずつゆーたは落ち着いていった。

……そんなかなで、今まで来ている。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*..：*：*！° 。：*：*...*：

今日、ゆーたは5時間目お腹が痛くなって保健室に行ったそうだ。

放課後には全く元気になって、はしゃいでいたそうだ。

本当に調子悪かったの？と疑いたくなるほどだった、と担任の先生から連絡があった。

多分、神経からくるものじゃないかな、と女房も言っていた。

本当に痛くなったのだと思う。

明後日に迫った、持久走大会を前にして、ゆーたはとても落ち着かないでいる……。

「本来は、生徒がいるから先生がいるのであって、
生徒がいるから学校があるのですよね。
先生がいるから生徒がいるのでも
学校があるから生徒がいるのでもなく。」

(頂いたメールより)

ただ見ていることしかできない辛さ -1998/12/04(金) Vol.9-

「いよいよ明日が大会です。今日の5時間目の練習を頑張っていました。2周目まで走り、3周目は時々歩くというペースです」

担任の先生がこんなメモを書いてくれた。

いよいよ明日は、持久走大会。でも、天気が悪いようだ……。

5時間目が終わる頃、持久走の練習をやっているグラウンドの外に車を停めて遠くから眺めていた。既に走り終えた子ども達もいるようだった。

ゆーたの姿がなかなか見つからない。

もしかしたら保健室にでも、と言った不安がよぎった。

しばらくすると5、6人の子ども達が固まって走っているのが見えた。先生もいた。

時には、先生に手を引かれながら走っている、ゆーたの姿がそこにあった。周りの子が何を言っているのかわからなかったが、しきりにゆーたに話しかけていた。そして、その度にゆーたは走るスピードをあげた。

最近よく、ゆーたが生まれて入院、手術を繰り返していた時の事を思い出す。日頃は出来る限り考えまいとしているせいか、あまり当時のことを思い起こすことはなかったが……。

生まれた年の11月。2度目の手術。

「簡単な手術ですから」と言われていたが、失敗して、やり直しの手術をゆーたは受けた。その頃にもなると、表情もはっきりして、笑顔がたまらなく可愛かった。

手術が終わり、麻酔が切れる。

ゆーたの体には、たくさんの管がつけられ、体も動かないようにされ……。

鼻から管をいれられているため、泣き声にならない声をゆーたはあげていた。

女房は、その横で、

「痛いね、痛いね」と言い続けていた。

僕はそんな二人の姿を見ているだけだった。

それしか僕たちに出来ることは何もなかった。

目の前で痛みを訴える一歳にもならない我が子がいても、どうしてやることもできなかった……。ただ、見ているだけしか……。

明日、女房は学校の仕事の合間をぬって、持久走大会を見に行くと言っている。但し、ゆーたの目に入らない遠いところから見ている、と。母親の姿を見れば、ゆーたの気持ちがいっぺんにめげてしまうことがわかってからだ。

これから先、色々辛いことがあっても、それは自分自身で立ち向かうしかないのだ。たとえどんなに苦しくても、僕たちは「頑張れっ」としか言ってあげられないのだ……。

「U - T A」 -1998/12/05(土) Vol.10-

「今日こちらは、冷たい雨が降っていますが、そちらはいかがですか？」

もしお天気なら、今ごろゆーた君は、一生懸命マラソンしているところでしょう。

無事完走できますように。遠くから応援しています！」

その他にも、頑張っってね、と言うメールをいただいた。うれしかった。

こちらも雨。

朝、ゆーたは

「やった！中止だあ～」

ととっても喜んでいた。

12月19日に延期されたただけだが、その気持ちはとってもよくわかる。

いつもするようなチェックをしなかった僕がいけなかったのだ。
子ども達がうるさいから、等と考えた僕に罰があたったのだ(あるか!)

とにかくハードディスクの中身は全て消えた.....時、午前5時半

とにかく、全部消えてしまったのだった。
MOに保存してあるのもあるが、メール関連が全部消えてしまったのが、たまらなく痛い。返事を書きかけのメールもたくさんあった.....。

メールマガジンのバックナンバーも消えてしまった。
雛形もなくなったため、急遽友人のTom i (仮名) 氏に事情を話して送ってもらった。
朝の8時から10までの子ども会の廃品回収当番に行ってきた以外は、一日中、パソコン復旧にかかりつきりだった.....。

夜の10過ぎ。
ようやく、通信環境も元に戻った。

お願い

ここ、2週間ほどでメールくださった方でこちらから返事がまだの方、
お手数ですが、出されたメールを再送して下さい。
「要返信」フォルダのメールも消えてしまいました。ゴメンナサイ

この世で二つとないかけがえのないもの。それはデータ.....。(涙)

「死にたい」なんて言ったらダメっ! -1998/12/07(月) Vol.12-

土日に泊まりにきた子ども達が
「今日、学校でゆーた君、『もう、自殺してやるう』って騒いだんだよ」
と、報告してくれた。

日曜日の夜、女房がゆーたにそのことを聞いてみた。

どうやら、足が痛くなって、それでも「早くしなさい」とか言われてイヤになってしまった、ということみたいだ。

今までも、クラスの友達に嫌がらせをされたり、悪口を言われたりしたとき、夜布団の中で、母親に
「ゆーたはどうせ役立たずだから.....」
「生きていても仕方がない・・・」
等と口にすることがあった。
その度、「そんなことはないよ」と女房は言ってきたが。

マスコミで報道される小さな子ども達の悲しむべき事件、そしてTVゲームなどの影響で、子ども達の周りに「死」という「言葉」が確実に増えてきている。
そう、「言葉」だけが.....。

ゆーたの給食用のお箸を洗いながら、話をした。
どうして、「自殺」とか「死ぬ」とか言って欲しくないかと。

僕の受け持った生徒の中で、二人の生徒が自殺している。
そのうちの一人は卒業生だが……。

「パパが先生だった頃、二人のお姉ちゃんが自殺したんだ。
一人は高校2年生。もう一人は、卒業して働くようになってから。
ものすごく悲しかった。たまらなかった。
自分の子どもでもない人が死んで、あれだけ悲しんだり苦しんだりしたんだ。ゆーたが死ぬことなど、考えられないし、考えたくもない。
もし、ゆーたが死んだりしたら、パパは自分がどうなってしまうかわからない。
『死』というのは、とってもとって悲しいことなんだ。
だから、「死ぬ」とか「自殺する」なんて言葉を聞く度に、パパはいつもドキっとするんだ……」

この話をゆーたにするのは初めてだった。
今はまだわからないかもしれないが、いつかゆーたも「死」の重みを受け止める日が来るだろう、そう思った。

生徒の自殺については、HPのバックナンバーで
お読みになれます。No.1です

パソコンショックの中で、何が一番ショックなのかは、送受信メール。
その場の勢いで書いてしまったメールもあるが、一つ一つのやりとりを読み返すと、自分の書いた言葉にドキっとすることがある。

あの頃 -1998/12/08(火) Vol.13-

親父はよく何かを書いていた。
夜遅くまで、何を書いているのだろうか、と小さい頃はよく思った。
本も良く読んでいた。

本棚に(と言ってもタンスの上に並べてあるだけだが)「ハムになる本」というのを見つけたとき、「人間をどうやって食べ物にしてしまうのだろうか」と不思議に思った感覚は今でも忘れない。

中学の頃だったろうか、本棚に「国鉄六華」という本が何冊かまとまって置いてあるのを見つけた。
なんで同じ本がたくさんあるんだろうか……？
不思議に思って手に取った……。

国鉄の短歌サークルの全国組織だろうか、「歌人会」というのがあったらしい。年一回、その年の「国鉄歌人賞」を決めていたみたいだ。その第一回の歌人賞から第六回の歌人賞の短歌を納めた本だった。
そして、親父は第一回の歌人賞を受けていたのだった。
6人の歌人(というのも変だが)の歌が載せられていた。

僕は黙ってその中の一冊を持っていった。以来、20年以上、その本は僕の手元にある。
本を僕が持っていることを親父は多分知っているだろう。
けれどその本については、親父は何も言わない。
本が出されたことも何も言わなかった。

それほど多くのことを僕と姉に語ろうとしない人だ。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*..：*：*！° 。：*：*...*：

マラソンを日課ときめし子の朝のいさぎよきさまいつまでつづく
ひとり待つ淋しさ体に滲ませて日暮れの部屋に子は座り居き
勤め持つ妻の自転車きさらぎの風まともなる野をゆく頃か
昇進の以外に早きかのひとり阿（おもねり）しゆえと噂されいつ
神経の疲るる作業の日がつづき時計いつしか手首にゆるし

若くして征きて還らぬ君の貌流血のデモの貌にかさなる
うち据えて獲物を運ぶさながらに運ばれてゆくデモの学生

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*..：*：*！° 。：*：*...*：

昨夜、メールがどどっと届いた。
その人との今までやりとりしたメールの送付をお願いしたのだ。
70通。4月に「子育て……」のメールマガジンを出してからのつきあいだ。

特に、この4月からの揺れ動いている僕の姿が克明に記されている。
そうだった、そうだった。

人間の記憶は曖昧なものだから、自分に都合の悪いことや、恥ずかしいことなどは、無意識のうちに遠くへ追いやろうとする。
でも、書き残したものに対しては嘘はつけない。
たとえ自分の気持ちとは、ずれていても、そう書き残した自分がしっかりとそこにいる……。

ゆーたもいつかこうした僕の文章をみることがあるのだろうか？
その時あいつは何を思うのだろうか……。

【お願い】

メールボックス復活しつつあります。
みなさんとのメールのやりとりが残ってありましたら、
お手数をかけますが、是非、送りつけて下さい。お願いします。

「ウンチい！」(汚くってごめんなさい) -1998/12/09(水) Vol.14-

ゆーたは、学校で何かあったりすると、なかなか2階にあがってこない。
疲れ切っているときもそうだ。

玄関の開く音がする。
おっ、帰ってきたな……。
まず、ゆーたは下のおじいちゃん、おばあちゃんのところで一息つく。

「早く、片づけてきなさい」
「パパにただいま、言ってきなさい」

そう言って下では、一端2階に追いやる。

ゆーたはそぉーっと、そぉーっと足音を忍ばせてあがってくる。
調子の良いときは、「ただいまっ！」と部屋に入ってくる。

(注、パソコンの置いてある机とゆーたの学習机は隣り合わせ。
大体、僕はパソコンに向かっている。
時々、床に転がって寝ているときもあるが.....)

一種のゲームを楽しむように、ゆーたは二階にあがってくる。
そして、部屋の外にランドセルを置いて、再び静かに下におりていく。
もちろん、おじいちゃん達に、「ただいま、言ってきたよ」と言うことは忘れない。

:.:.:'° 。.:*:.:'° ° ' .:*.:.。

今日も、なかなか二階に上がってこないの、僕はしびれを切らして階段を下りていった。ランドセルは、玄関に放りっぱなし。

ったくもー、と思いながら居間に入っていったが、そこにも姿はない。
あれれれれれ?????

「お便所行ってるよ」とおばあちゃん。
「帰ってくるなり、すっ飛んでいった」と。

:.:.:'° ° ' .:*.:.:*.:'° ° .

ゆーたはまだ、毎朝の排便の習慣ができていない。
家で朝、きちんとトイレをすましていくといいんだよ、と言ってはいるがなかなかできない。
大体、家に帰ってきてからか、学校で用を済ます。

だから、出かけるときは絶対に「ウンチ！」となる。

:.:.:'° ° ' .:*.:.:*.:'° ° .

しばらくしてから、ゆーたは2階にあがってきた。
「よかったなあ、もれなくて」
「なおゆき君と別れたあたりで、急にしなくなった」
「もし、漏れてたら、ババまみれになっちゃうところだったな、オイ」

このババまみれ、がゆーたには受けたのか、ゲラゲラ笑い転げていた。
全く屈託のないヤツだ。(笑)

ウンチ、ウンコ、糞、大きいの.....
大便に対する呼び方、話題の仕方には、いつも一瞬のためらいをもってしまう。我が家ではやっぱり「ウンチ」だな。

失礼！

忘年会シーズン -1998/12/10(木) Vol.15-

「本日、全国一斉に公務員に冬のボーナスが……」
何度もそのニュースがTVから流れていた。
そうなんです。始まりました。女房の忘年会シーズン。

学校というところは、忘年会とかが多い。
所属している学年。学校全体。教科。分掌（教務とか進路とか）。他にも人によっては、PTAとか、同窓会とか……。

で、本日は第一弾。
寿司屋で学年の忘年会だそう。

「ねえ、送っていつてくれる？」「ああ……」
「ねえ、迎えに来てくれる？」「ああ……」

5時半過ぎに出かけて行って、混雑する町中を忘年会会場まで。
家に戻ると7時頃。
晩飯は、ご飯にみそ汁と納豆をかけてお終い。

風呂から出てきたゆーたに明日の支度をさせ、8時半には布団に。
気持ちよく一緒に寝てしまった。

9時45分頃。
女房から電話があったが、寝てしまって気がつかずにいた。
そこで、彼女は下のおじいちゃんの所に電話を入れた。
親父の声にガバッと起きあがり、眠い目をこすりながら、んじゃ、行くかと言うときになって、ゆーたが目を覚ました。

「ママはあ～????」

「今日、遅いと言ってたでしょ？」
再び布団に戻り、15分ほど一緒に。寝入ったのを確認して出発。

「遅い～。寒かったんだから！！」と女房。
手には一応、お土産の寿司が握られていた。

「今日のメールの中に、『毎朝の排便習慣』という話がありましたね。
たしかにそれは理想かもしれませんが、必ずしも正しいとは思いません。
人間の体にはひとそれぞれのリズムがあると思います。
それに素直に従ったほうが体のためにもいいのではないのでしょうか？」
（頂いたメールより）
……なるほど！！近々、「続・ウンチ」を書こう！！

ウンチは続くよ、どこまでも -1998/12/11(木) Vol.16-

まずは、お便り紹介

うちの子供達は 朝 「行ってきま～す」と言ってから「あっうんち！」か ただいま～と言いながら便所に掛け込む(ゆーた君方式)です

なんとと聞くと上の子は「便座が汚いし、なんかカッコ悪い……」下の子は「ぼく学校で出来るで、でもあんまりしたくならん」

上の子の言うカッコ悪いは時々聞きます。うんちしたやると言われるのが嫌で家まで我慢・我慢……身体に良くないような気がするんだけどなあ

んでもって、もういっちょ！（昨日も「一言」で触れましたが）

すごく前に新聞だったかで読んだ話を思い出しました。

やはり小学生の話で、その子は学校から帰って家でゆっくり排便するのが日課になっていました。

でも親がやはり朝にするように注意したところ、もちろん子供もがんばってみるのですが、うまくいかずだんだん精神的に参ってしまい、病院にかかるほどになったか、登校拒否になったという話です。

記憶が曖昧ですが、たしか精神科の病院にいった話だったかなあ。

「子供たちのこころ」みたいな記事だったかもしれません。

すいません、曖昧で。

最終的に、その子にとっては、家のトイレが学校から帰ってきてゆっくりできる時間と空間だったというわけで、安らげる場所ということだったらしいです。

(別に学校の友達や家族と不仲だったわけではない)

きっと一日の出来事を思い起こしながら、安心して(これが重要)用を足していたのでしょう。家のトイレで夕方排便する、というのがこの子の毎日にとっては欠かせない大事な精神安定剤(ひいては体の健康なリズムを整える)だのでは？ (以下略)

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.'° .:*.:'° 。.:*...*:

ウンチのメール、頂いてます。(笑)

昨日、女房を送りがてら、聞きました。

「朝の排便習慣、ってどうして大事なの？」

「????????」

「あれ？ 言っていたジャン！」

「えっ？ 言ったあ？ 言ってないと思うよ」

「私だって、朝の排便の習慣がついたのは、お産の後からだよ」

うおっとおおおお！

まずは、「朝の排便習慣をつけるとよい」と言うのは、女房から聞いたことではなかったのだった。あれれれれ？

女房は、保健体育の先生。大学では人間の色々な機能や、ストレスなどについて一応は勉強していたらしい。

現在でも心理学や大脳生理学のことは、結構勉強している(みたいだ)

僕のそうした関連の知識も、大体は女房が
「この本、面白いよ」とか、女房が買ってきた本を横取りして読んだり、というものが多い。

だから、ゆーたの健康管理については、女房の判断が非常に決め手になる。
ということで、「朝の排便習慣」というのは、女房が言っていたことだとばかり思いこんでいた。
僕の頭にすっかりインプットされてしまっていた。(保育園の保母さんかなあ……?)
メールを頂いて、非常に納得した。

僕が気にしているのも、「学校でうまくできなかった」とか、「ウンチをもらしてしまった」ということを
思い浮かべると、「ウンコたれ~!」とか「汚い~!」とか言われるゆーたの姿を勝手に思い浮かべている
からかもしれない。

しかし、ゆーたに聞くと、授業中でも何でも、トイレに行きたくなったらさっさと行くから、ということ
だ。(どんな行き方をしているのか、不安になるが……)

まあ、どんなことがあっても「朝には必ず」というわけでゆーたには接してきてないし、トイレの心配を
しないで済む、っていうことから、口にしていることが多いから、そんなにスタンスは変わらないと思う。

.*:~'°。.:*~'°。'~*:.。.:*~'°。.:*~*~*:

ウンコたれ……
小学校4、5年の頃だったと思う。
友達と遊んでいて、家に帰る途中、急にトイレに行きたくなった。
ところが家に帰ったら、カギがかかっている。
焦る!!!! 顔からは冷や汗が出てくる……。

必死になってカギの開いている所を探し、やっとのことで台所のカギがあいているのを見つけた。
よじのぼり、体をねじまげ、やっとの思いで体の中に入れることができた。
あと、少し……。

安心したのか、その瞬間、台所に……以下自粛

悔しいやら、恥ずかしいやら……。
「ぼちぼち」を書いていたら、突然、封印されていた記憶が蘇ってしまった……。(恥)

.*:~'°。.:*~'°。'~*:.。.:*~'°。.:*~*~*:

ゆーたが小学校の1、2年生の頃だったろうか?
よく、ゆーたが「パパ、見て、見て~」とトイレから呼ぶ。
長——————いウンチが便器に。
二人して
「すごーい」
「何センチあるかはかってみよう!」
「ママに見せるように流さないでおう!」
等と言っていた。

でも、いつ頃からだろう。
ウンチが驚いたり、楽しんだりするものから、「汚いだけ」のものになってしまったのは……。

OSMさんのメルマガを読むのが、毎日のストレス解消になって。。。"^^"
自分のメルマガを出さない日でも、OSMさんのメルマガは欠かさず読みます。(笑！)

ランチバイキング -1998/12/12(土) Vol.17-

朝から、今日一日何をしようということで女房は、頭を悩ませていた。
突然、「ランチバイキングに行こう！」と言い出した。

何年前か前、親子三人で、年末に東京ディズニーランドに一泊で行ったことがある。ホテルの朝食がバイキング形式で、ゆーたはとっても気に入っていたらしい。

以来、年末にはディズニーランドに行くのが恒例行事になってしまっているが、わざわざ泊まりで行くまでもないので、日帰りにしている。

12月になり、ゆーたはしきりに
「ねえ、ディズニーランド行くんでしょ？ホテルに泊まるんでしょ？」
「行くけれど、ホテルには泊まらないよ」
「……」

そんなやりとりを最近、よく女房とゆーたはやっている。

早速インターネットで、女房はランチバイキングをやっているところを調べ始めた。
結局、浜松では、有名(?)なグランドホテル浜松。
大人¥1,900 子ども(小学生以下) ¥950

:.:.:'° 。 .:.*:'° ° ' .:.*:.. .:.*:'° 。 .:.*:..*:

「あ、忘れ物だっ！」
出かける間に、ゆーたがそう言った。
ハンカチを机の引き出しから、引っぱり出したのだった！
学校に行くとき、いつも「ハンカチを持ったの？」と言われてから、持っていったゆーただったのに……。

行きの車の中で、聞いてみた。
「どうしたの今日は？ハンカチを自分から持っていくななんて初めてじゃないの？」と。
「だって、ちゃんとしたところに行くんだから、身だしなみだよ」
「オイオイ、学校はちゃんとした所じゃないのか？」
「う～ん……。わからん！」
ゆーたの頭の中には、学校 = ちゃんとしたところ、という図式はないようだ……。(^v)

「家の中にいるときは、タオルとかかけてあるから良いけれど、どこかに出かけるときは、身だしなみとしてハンカチなんかは持って行った方が良いんじゃないかい？それで納得できる？」
「うん、わかる、わかる」
と。本当にわかったかは ? だが……(^)

:.:.:'° 。 .:.*:'° ° ' .:.*:.. .:.*:'° 。 .:.*:..*:

11時40分頃、ホテルに着いた。

「今日は、どの部屋に泊まるの？」

「ちゃうんよ、お昼を食べに来ただけ！」

わかってないヤツだ……。(;)

それから1時間。ゆっくりゆっくり食事をした。

おいしかった。

それよりも、時間をかけて食事をするということは最近、あまりなかったから、とっても気分がゆったりとした。

……途中でゆーたはいきなり「トイレ！」と言って立ち上がった。

食事の後、ホテル内の探検をした。

教会のチャペル形式の結婚式場。最上階のスカイラウンジ……。

2時半頃、自宅に戻ってきた。

友達からの「遊ぼう～」の留守番電話が何本も入っていた。

帰ってきた直後にも「遊ぼう～」と言う電話が入り、友達がやってきた。

僕は、疲れていたのと、お腹がいっぱいになっていたので、昼寝をした。

起きたら5時半。

晩飯の時間だった……。(;)

いよいよ来週末は、延期になっていた持久走大会。

夕食後、来週の日曜日にも、持久走大会終了をお祝いして、ランチバイキングに行こうか？と女房とゆーたは話していた……。

1 センチメートル2 -1998/12/13(日) Vol.18-

「1センチメートル2(にっ)」

女房からこの話を聞いて、声を出して笑ってしまった。

学校で、今、面積を習っているんだそうだ。

1 cm² < -- この「2」は本当は上付きです。(^^ゞ

そう、「1平方センチメートル」をゆーたは、「1センチメートルにい！」と読んだそうだ。なるほど、そう言われてみればその通りだ。

:*:~!° 。.:*:~!° ° !~*:~.。.:*:~!° 。.:*:~!~*:

結局、今日はどこにも出かけなかった。

僕は朝の5時近くまでHPをいじくっていたので、とても外に出る気にはなれなかった。

ゆーたも少し鼻水がでるし……。

女房は、しきりに「こんな良い日なのに」とこぼしていた。

午前中は、友達が一人遊びに来て、午後は、灯油を買いに出かけたり、目薬を買いに行ったり……。

パソコンショップにメモリーを取りに行ったり……。

いつの間にか一日が終わってしまった。
でも、なんとなく過ぎていくこんな日も好きだな。

:*:.'° 。..*:.'° ° '.*:.. .*:.'° 。.:*...*:

午後、おもちゃ屋に電話をかけまくった。
クリスマスのプレゼント.....。
この間、出かける度に探していたのだが、見つからなかった。

もし、なかったらどうしよう・・・。
ゆーたはサンタクロースは万能だと信じて疑わない。

プレゼントがもらえない手に入らない、なんてことはゆーたの頭にはインプット！されていない。

何軒かかけまわっても、
「ありません」「いつ入るかはちょっと.....」「クリスマスには間に合いませんね」
という素っ気ない返事.....。

やっとのことでそのプラモデルが置いてあるお店があった。
とりあえずとって置いてもらうことにした。

そだな、このことが今日のトップニュースかもしれない.....。

あんなに喜んだのに -1998/12/14(月) Vol.19-

今週末はいよいよ、延期された持久走大会。
夕べはあまりぐっすり眠られなかったみたいだ。
明け方も、早くから何度も目を覚ましたり.....。

起きてくるなり、
「体が調子悪いよぉ」
とグダグダ言っていた。

「この前、延期になったときは、『やったぁ！』ってあんなに喜んだのになぁ.....」 と。

すかさず、
「そうだね。やることになってるなら、さっさとやっしまえば良かったよね。」
と突っ込んでみた。

「ウウン、寒いときにやらなくてもいいと思うんだ」
とあくまで持久走大会の存在を認めたらがないゆーた。

「夏にやったらいいんだよ」

「夏みたいに暑いときには、体力がすごく消耗するから、持久走大会なんてやらないんだよ」と体育の先生が横から突っ込んでくる.....。

「それでもやっぱ寒いといやジャン！」

.....やっぱりいやなんだろうなあ。
風邪も流行っているようだし、少し咳き込んでいたりする。
体調が悪くならなければ良いのだが.....。

ついこの間まで うちの子達も信じてたのに
(と言うか 振りしてたのかも・・・)
今年はとうとう
予約しといて と言われてしまった
(メールより)
ディスプレイの前で吹き出してしまった.....

どひゃひゃひゃひゃあ～っ (意味不明) -1998/12/18(金) Vol.20-

いやあ、書きたくなかったわけではないんです.....。

毎日、日記を楽しみにしています。
ところが、16日からメ-ルが届かなくなり、
気になってしまいました。
こちらの原因での故障でしょうか。

とんでもありません。僕が発行していなかったのです。 (^^ゞ

他にも、「どうかしたんですかあ？」とか、「最近、こないじゃん」とか.....。いやあ、この『ぼちぼち・・・』も結構愛されているんだなあ、と喜んでみたり、恐縮してみたり.....。

はい、パソコンの手術をして、弄ばれていました。

少し前のデータ消失事件で、痛い目を見たのに、逆に自分の中で、パソコンをいじりたい、という気持ちの押さえを消すことができず、遂に、マザーボードとCPUの交換という、暴挙に出てしまいました。

今度は、データはしっかり、MOにもノートパソコンにもとってありましたから、その点では大丈夫でしたが。(この点では学習しました)

で、空白の3日間をダイジェストで.....。

:*:・'° 。.:*:・'° ° '・*:..。.:*:・'° 。.:*:...*::

「年末だしな.....」15日(火)

この前、ハードディスクを交換したときに、パソコンの中がずいぶん汚れているなあ、と気になっていた。調子も悪いなあ、とも。

また、僕の手元には友人からもらった(?)マザーボードとCPUが転がっていた。

そんなところへ思わぬ臨時の収入が入った。女房殿の了解を得て、一気にパソコンの改造に取りかかった。

夜中、なんとか組立完了!

おお、簡単じゃん！うげっ！速い！と感激。
.....ふと気がついた。音が出ない。音源ボードがなかった。
まあ、明日買いに行こう、と言うことで幸せ一杯の気分で眠りについた。

.....ゆーたは元気だ！
ばらばらにされたパソコンのパーツがとても気になるらしい。
触りたくて、触りたくて仕方がないみたいだ・・・。
そばに来るたび、「しっしっ！ダメダメ！」と追い返していた。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

「手も足も出ず！」 16日(水)
さて、音源ボードを買いに行って、早速取り付け。
よっしゃあ、組立完了！
おりよりよりよりよ.....？
音が出ない、やっと音が出たと思ったら、パソコンがいきなりダウンする。
あれ？ファンも回らない.....。うわあああああっ！
完全にパニック状態。目の前が真っ暗なまま、眠りについた。

.....女房はパソコンで成績処理をしたいらしい・・・。
それから、卒業文集用にプリクラを作してほしい、と。
うるさいわい！それどころじゃないんだから・・・。
.....ゆーたは、元気だ！

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

「このボードおかしいですね」 17日(木)
パソコンショップに、「ファンが回らないのはおかしいんじゃない？」と、持って行ってチェックをしてもらった。
いろいろ調べてもらった結果「やっぱりおかしいですね。交換します」ということで、新しいマザーボードと交換してもらった。
緊張しながら、組立。そしてwin98のインストール.....。
やったあっ！
今度はうまくいった。
メールをチェック！どひゃ～！溜まっている.....。
幸せ一杯で、眠りについた。

.....ゆーたは、元気だ！

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

ソフトを入れ直して、ほぼ以前の状態に環境は戻った。
しかも、スピードが今までの200MHzから400MHzに。
う～ん、快感！！！！

.....さて、いよいよ明日は持久走の記録会。
だいぶ観念(?)しているのか、それほどイヤだイヤだ、とは言わない。イヤな気持ちを少しは整理でき

るようになったのだろうか……？

天気も良いみたいだ。さて、どうなることやら……。

アメリカがイラクに攻撃をしかけましたね。

たとえいかなる理由があろうと、戦争はイヤです。

あの場所に僕たち家族がいたら……。

爆撃によって、目の前でゆーたが……。

絶対にイヤです。

「3周800円かぁ……」 -1998/12/19(土) Vol.21-

持久走前日……。

これを書かずに今日は終われない。

たくさんの方から、応援のメッセージをいただいた。

天気快晴。風は少し……。

昨日の朝、女房にゆーたが何やらゴシヨゴシヨ言っていた。

「ねえママぁ……。

ゆーたすんごく頑張っていると思うんだ。明日の持久走大会、頑張ったら何か買ってくれたらなぁ、って思っているんだ」

夕食後、「いよいよ明日だね」と言う話になった。そこでゆーたは、

「ねえ、ママぁ……。いくらくらいのプラモデルだったら良いと思ってるの？」

「そうねえ、じゃぁ500円くらいかなぁ」

「……」

何やら紙を持ってきてゴシヨゴシヨ書き出すゆーた。

「ゆーたのひょうか額 800円」

というメモを女房に渡した。

お宝鑑定団の身過ぎだつづくに！

「よし、わかった！じゃぁ3周を歩かずに走り通せたら、800円にしよう。でも、途中で歩いちゃったらぁ……。500円ね。いい？」

「OK！」

「ウム、3周800円か、まぁまぁだな」などと気取った口調でヤツは言っていた。

そんな二人のやりとりを僕はずっと聞いていた。

今週になって、ゆーたはもっと落ち着かなくなるかと思ったが、そうではなかった。

時々、「あぁ、また延期になればいいのになぁ」とか、「先々週にやっちゃってあげれば良かったのになぁ……」とかボソッと云ったりした。

しかし、学校で訳が分からないことをしでかすでもなく、「調子悪いから、明日は休まないといけないかもしれない」なんてことを言い出すこともなかった。

ゆーたの心の中で「いやだけれど越えなければいけないこと」と「できることならやりたくない」という気持ちが、戦っているんだろうな、と思った。そして自分の中で一生懸命、自分の気持ちをコントロールしているのもよくわかった。

:*:・'° 。 .*:・'° ° '・*:.. .*:・'° 。 .*:...*:

9時20分スタート！

我が家のすぐそばに工業用水の浄化施設があり、そこにはグラウンドがある。
歩いて、1～2分のところ。
グラウンドのトラックとその周囲の草っぱら、1周500mを3周するのだった。

スタート地点とは反対側のグラウンドの隅の方で見ている。

スタートした。すぐに子ども達は一列につながっていった。
ゆーたは……。一番最後の方を見た。
いたいた。
あいつだけ体育の帽子をかぶっていない……。すぐわかった。(;)

1周目の後半に差し掛かるところに僕はいた。
目の前をゆーたの友達が走り去っていく。
どの子も、いつも我が家で見せる表情とは全く違う。真剣そのもの。
とても声などかけられなかった……。

ゆーたが目の前を通り過ぎていった。
まもなく、2周目……。
そのとき、ゆーたは草の上にもゴロンと横になってしまったのだった！

担任の先生が駆けつける。
もう一人の先生も駆けつける……。

体をグニャグニャさせている……。
どうするんだろう……？

お、もう一人の先生に手を引かれて、また走り出した。
2周目は何とか二人の先生に挟まれた格好で走り終えた。

さて、3周目。
そのころには速い子ども達は、とっくにゴールに入っている。

3周目は先生の手を離して走っている。

半分ほどすぎた頃、3人の子も達が、コースを横切ってゆーた達の所に走り寄っていった。
わかった。

よく家に遊びに来る、A君とN君と、Sちゃんだ。

ゆーたの両横と後ろ、3人に囲まれるような形で、ゆーたは走っている。

「頑張んなよ!」「後少しだよ」「もっとスピードあげて!」

子ども達は口々に言う。

ゆーたの走るスピードは次第に上がっていった。

そして僕の目の前を通り過ぎ、人垣の向こうのゴール地点に消えていった。

僕はグラウンドを後にした。

:*:・!° 。.:*:・!° ° !・*:..。.:*:・!° 。.:*:...*:

3周700円!

女房が帰ってきた。

開口一番「どうだった?」と僕に聞いてきた。

ムニヤムニヤムニヤ、ゴチヨゴチヨゴチヨ.....顛末を話した。

昼寝から目を覚ましたゆーたはダダダと二階に上がってきて、

「さ、パパ!早く買いに行こっ!」

と僕をせかすのだった。

「ゆーた、今日はどうだったの?頑張れた?」

「ウン。ママ800だったよね。」

「途中で寝転がっちゃったんだって?」

「だって、疲れちゃったんだモン。」

「う~ん、3周休まずに走れたら、ってことだったよね。」

「.....」

「自分で頑張ったなあ、って思える?」

「ウン、頑張ったよ」

「よおし、わかった。じゃあ、100円引いて、700円でどう?」

「ウン、そだね」

.....

「じゃあ、消費税はパパが出してやろう~!」

:*:・!° 。.:*:・!° ° !・*:..。.:*:・!° 。.:*:...*:

お店にて

何か本を読んだのだろうか?戦車のプラモデルが欲しかったみたいだ。

いろいろ探すが、ほとんどが「800円」以上だった。

「う~ん、買えないなあ.....」

更に探すゆーた.....。

なかなか見つからない。

500円くらいのを手にとり、これにしようかな、と一度決めたみたいだ

った。そのプラモデルはいかにもちゃっちゃかった。

「オイオイ、ここはプラモデルは1割引だから、800円のが720円になるんだぞ。まあ、20円オーバーは、パパが出してやるから、さっき見ていたので気に入ったのにしたらいいよ。」

ということで、ゆーたは戦車のプラモデルを手に入れた。

「帰り、どこかで食事していこうか？」

「う～ん、どうしようかなあ……」

とどうも乗ってこない。

早く作りたい、という気持ちもあるだろうが、疲れ切ってしまったているようだ。

時々、バックミラーでゆーたの姿を見ても、力無くシートに背をあずけている。目はトローンとしていて、今にも眠ってしまいそうだった。

ホント、疲れたんだろうな。

かくして、今年の持久走大会は終わりを告げた。

いよいよ、今年もお終いだ……。

例によって女房は、今日も忘年会だ……。

相変わらず、空爆が続いていますね……。

アメリカ議会では大統領の弾劾裁判が……。

イルカの死 -1998/12/20(日) Vol.22-

静岡県東部の最南端の下田から、静岡県の西の外れ浜松に卒業生が遊びにやってきた。

彼女は下田の水族館でイルカの調教をやっている。

もう、就職して10以上。チームのリーダーになっている。

仕事を辞める、遊びに行く、と携帯のスカイメールでメッセージが届いたのは先々週。いろいろと話したかったようだ。

今週の初め、なかなか連絡がとれなかったと思ったら、イルカが死にそうですとつきっきりだった、と。

下田の水族館で生まれたイルカで、3歳になる子ども。

「死にそう」ということで、彼女は3日間、ずっとイルカの側についていたと言うのだった。

……3日間で睡眠時間は3時間、だと……。

看病の甲斐もなく、結局イルカは死んでいったと。

その後も、解剖して原因を調べたり……。そんな日々が続いていたと。

死因は海から流れてきたビニール袋を食べて、それが食堂に詰まってしまっていた、ということだそう。ビニール袋が詰まっていたために、戻すこともできずに、日に日に弱っていった、と。

「海が汚いからね……」

と彼女は一言……。

:*:・'° 。.:*:・'° ° '・*:..。.:*:・'° 。.:*:...*::

彼女が遊びに来たのは、今年2回目。ゆーたもしっかり遊び相手として、来るのを楽しみにしていた。

仕事の話などを、少しした後、ゆーたとゲームに興じ始めた。
まずは、マリオカート。
そして次はポケモンスタジアム。
両方とも、彼女はあまりやったことがないので、ゆーたでも勝てる！
だから、ゆーたは彼女とゲームをやりたいがらのだった……。

彼女もゲームが好きですぐに熱くなる。
二人してイスの上に立ち上がって、いえい！なんてやっている姿は何とも言えず、見ていて笑える。

ジェンガを四人でやって、昼食に……。

ここに来ていると、仕事の連絡が入らないから、とても気持ちが楽になる。
そう言っていた。

昼食を食べ終えて、車に乗り込むと、彼女は眠ってしまった。
駅について起こしても、全然起きるそぶりも見せなかった……。
1時間ほど、車の中で眠らせて、新幹線を一本遅らせた……。

ホント疲れているんだなあ、と。

夜の6時から、また会社でミーティングがある、と言っていた。

もう少ししたら仕事を辞めるらしい。
確かに話を聞いていると、大変だ。
動物と接していることは苦痛ではないが、人間と(会社の)接していることのストレスが相当強いみたいだ……。

まあ、これからどうするのだろうか……。
また、遊びに来るだろう……。

【下田海中水族館のホームページ】

<http://www.fujita-kanko.co.jp/kowakien/shimoda/index.html>

僕の中学時代の同級生が女将をやっているうなぎや『かねりん』で、ウナギを食べた。う～ん、おいしかった。ゆーたも一人前をペロリと食べてしまう。
夜になって、ゆーたがずいぶん咳き込んでいる……。疲れが取れていないようだ……

冬休み突入！ -1998/12/21(月) Vol.23-

うわぁ！寝過ごしたぁああああ！
7時過ぎ、けたたましい叫びで、目が覚めた！

「何iiiiiiiiiiiiっ！ご飯炊けてないじゃんっ！」

しまった！炊飯スイッチではなく、保温スイッチのままだった！
また、やってしまった……。

冬休みに突入したのは、ゆーたではない。
女房の高校は、19日が終業式だったのだ。

で、今日から冬休みに入ったのだ。

今週一杯、学校には出勤するが、教員にとって生徒がいる、いないはとっても気分的に違う。朝のHRがないし、授業、休み時間と言った時間に追われることもない。

明日は午後から、同僚の先生と薫製をつくるんだとか……。

まぁ、気楽なモンだなぁ。

家にいると、とにかくうるさい。
女房はよく独り言を言う。

「あ、そっか！」

「これはこうなんだよね……」

「良いこと考えた！」

それとこっちにお構いなしに、話しかけてくる。
ま、パソコンに向かっていても遊んでいると思っているだろうが……。

考え込んでいるとき、
「ねえねえ、ちょっと、ちょっとお！」
大体さもないことが多い。
全く困ったモンだ……。(;)

改めて思う。
「女房元気で外が良い！」

自分で確かめてっ！ -1998/12/22(火) Vol.24-

冬休みまで、あと少し……。

学期末には、ゆーたの病院がいくつか集中する。
その一つ、今日は、小児神経科の診察。

診察結果については取り立てて変わったこともなく、「まぁ順調ですね」とのこと。

病院からを出たところの横断歩道を渡って、駐車場に行く。

信号は赤。僕とゆーたは止まって待っていた。
車は来ない。
向こう側から一人、赤信号なのにこちらにやってきた。
そしてゆーたの隣のおばさんも横断歩道を渡った。

それにつられてゆーたも「手を挙げて」横断歩道と渡ろうとしたのだ。

「オイ、赤だぞ、赤！」

はっとして、ゆーたは立ち止まった。
信号が青になった。

「さ、いこかっ」

ゆーたは信号を見ることもなく、歩き出した。

.....

「ゆーたねえ.....。自分の目でしっかり確かめないと駄目だよ。
周りの人に流されるんじゃなくて、自分で判断しなくっちゃ！」

横断歩道は手を挙げて！
信号をしっかり見て！
左右を確かめて！

.....いずれにせよ、形だけではないということ、
身につけて欲しいなあ.....、と。

明日は、映画を見に行くことにした。
「スモールソルジャー」ってヤツだ。

スモールソルジャーズ -1998/12/23(水) Vol.25-

いやあ、面白かった！

はっきり言って、あまり気乗りはしていなかった。
コロコロコミックで知ってはいたが、テレビの「何とかレンジャー」のアメリカ版だろうと思っていた。

女房は部活があり、二人で映画館に行った。
ガラガラ。やっぱ、人気がないんだな、などと勝手に思いこんだ。

少し時間があつたので、ゆーたの買ったパンフレットをペラペラめくっていた。アレ？なんか違うみたいだぞ.....。

で、映画が始まった。
ストーリーは、書くのが面倒くさいので省略。

ゆーたも僕もとっても楽しめた。
おもちゃが主人公だが.....。

見終わった後、キャラクター的に「グレムリン」「ネバーエンディングストーリー」を思い出した。
特に、雰囲気的には「グレムリン」に似ているなぁ……、と。

すっかり気に入ってしまった僕たち二人は、その後おもちゃ屋を回ったが、まだスモールソルジャーズのおもちゃは置いてなかった。

家に帰ってパンフレットをゆっくり見た。
なんと、監督はグレムリンのジョー・ダンテだった。

な～るほど、と思いながら、ゴーゴンナイトだ、エリートコマンダーだ、と話をしている僕たち二人を女房は何とも言えない顔をして見ていた。

:*:・'° 。..*:・'° ° '・*:..。..*:・'° 。..*:...*::

クリスマスはチキンと手巻き寿司！

我が家は二世帯住宅。
ゆーたを中心に階下のおじいちゃん、おばあちゃんと2階の僕たち夫婦はつながっている。
誕生日とか、お正月とか、クリスマスとか言った時は、一緒に食事をしたりする。

我が家のクリスマスパーティは、25日のゆーたの終業式の日に行くことになったみたいだ。

女房はダッチオープンで「すたっふどちきん」とやらを作るそうだ。
じいちゃん、ばあちゃんはチキンとかは好きではない。
で、結局、女房がチキンをつくり、おばあちゃんが手巻き寿司を用意する、
ということになったみたいだ。

……何とも言えない取り合わせだ……。(;)
ゆーたは、そんなことより、サンタさんからのプレゼントがあれば良いみたいだ。

デパートでゆーたと食事。なかなかお店が決まらず、30分ほどあちこち歩いていた。(;)
結局、ゆーたはいくら丼、僕はまぐろ丼でした。

クリスマスの風景 -1998/12/24(木) Vol.26-

ゆーたは頭が痛い、ということで、学校を休んだ。
パソコンの置いてある横に布団を敷いて横になっていた。
熱があるわけではなく、コロコロコミックを買って来て！ととてもうるさかった。
昼前、女房が帰ってきた。

午後、静岡の病院まで、ゆーたの薬を取りに行ってきた。
静岡インターを降りてから、市街は滅茶苦茶混んでいた。
病院に着くと外国の若者の一団がいた。足下には紙袋がたくさん詰まった段ボール箱があった。
クリスマスを病院で過ごす子ども達のために来たんだな、と思った。
クリスマスツリーが飾ってある。

26歳の時、網膜剥離の手術を受けた。

クリスマスだった。看護婦さん達が、真っ暗になった部屋にロウソクを手にして、メリークリスマス！と言って入ってきたっけ……。

相変わらずの病院の光景。色々な子ども達、そして不安げな親たちの顔、顔、顔……。

ゆーたが生まれた年、ゆーたが我が家に帰ってきたのは、クリスマスの直前だったんだ、とあの頃を思い出していた。

会計を待っているとき、どこからか携帯電話の呼び出し音が聞こえた。

ぱっと顔を上げ、見ると側にいた母親。

彼女は検査官が着るような白衣を羽織っていた。もしかしたら、病院の関係者……？

彼女は電話をとって話しながら予約コーナーへ行き、何やら受付の人と話をしていて。何か緊急のことであったのだろうか……？

でも、それでも無神経すぎることだ。

携帯電話の病院内の使用は禁止

そう、貼り紙がしてある。

ましてやここは子ども専門の病院。

我が子の診察に気を取られているのかもしれないが……。

話している最中、遠くからじっと見つめ続けていた。

帰りの道もまた渋滞。

インターに入る途中にあるオモチャ屋に寄った。

あった、あった！ スモールソルジャーズのオモチャが……。

一つ1800円もする。

どうしようか、買って帰ろうか？

タベもゆーたと二人でアメリカのスモールソルジャーズの公式サイトを見ながら、

「こいつが格好いいんだ！」

「パパはこいつが可愛いなあ」

と言っていた。

でも、やめた。欲しければ小遣いやお年玉で買えば良いんだから。

僕の方だけ買って帰ると、「ずるい〜」となるから、こっちも我慢！

:*:・!° 。.:*:・!° ° !・*:..。.:*:・!° 。.:*:...*:

インターに入る途中に一つの喫茶店がある。

その横を通り過ぎていった。

大学時代に3年間つきあった彼女と初めてのデートで出かけていった場所。

20年以上経つのに、当時と同じ場所。名前も変わっていない。

今でもはっきりと覚えている。

彼女の着ていた服。座った場所……。

彼女の誕生日は12月24日。今日。
今日、どこかで、家族に誕生日おめでとう！って言われているんだろうなあ……。
……Happy Birthday!

何とも言えない酸っぱい思いが、胸を刺す。

家に戻ってきたのが、6時過ぎ。
疲れてしまって一眠りしてしまった。

目を覚ますと、ゆーたはしきりに今晚のことを気にしている。
「サンタクロース来るかなあ……？」
「ゆーたが欲しいの、間違えないでくれるかなあ……？」
「心配で心配で……」

例えばクリスマスがどこかのデパートの売り上げのためであろうとも、ふと昔を振り返ったりするひととき
を与えてくれることに感謝したい。
そしてみんなの心をハッピーにしてくれることに。

【クリスマスのディナー】
東名高速のサービスエリアの「天玉そば」、¥380也
クリスマスだから、贅沢して、玉子と天ぷらを入れてあげた。(--;

クリスマスの風景2 -1998/12/25(金) Vol.27-

ゆーたは今朝、4時前に目を覚ましたようだ。
去年もそうだった。
サンタクロースがプレゼントを持ってきてくれるかどうか、気になってしまって……。枕元に置いてある
プレゼントに気がついてからというもの、ほとんど眠れずに朝を迎えたようだ……。

夜は、家族5人で夕食。
おじいちゃん、おばあちゃんは天理教を熱心に信仰している。
僕たちは宗教的には、とんと無頓着。
これが一週間もすれば、神社にお参りに行くのだから、無節操と言えば無節操かもしれない……。(--;
ま、いっか。気にしない気にしない！

手作りのスタッフドチキンに、手作りのケーキ。
クリスマスツリーには、おじいちゃんの手作りのピカチューやら飾り。

こうして家族みんなでクリスマスを迎えると、ホントに今年一年が終わりに近づいていることを実感する
……。

:*:. '° 。 .:*:. '° ° ' .:*:.. .:*:. '° 。 .:*:..*:

1998年12月15日(木) 11:50PM

=====
祐太が、祐太が帰ってくる！！
そう、後二晩一人の夜を過ごしたら、僕と佳子のこの家に祐太が帰ってくる。

1ヶ月半に及び入院生活。その間、佳子はずっとずっと神経を使えばなし。心休まる日は、一日とてなかつただろう。本当に頭が下がる。

手術が決まり、入院の日を待つ間、「こんなに祐太は元気じゃないのぉ」と涙を流した日。
手術室の前で、雑誌を読んだりしながら「簡単な手術だから……」
とお互い、言い聞かせるように話していた日。
ただ泣き続ける祐太に「痛いね、痛いね、おなか空いたね……」と一晩中声をかけていた佳子。
あの時の祐太の泣き声が耳にこびりついている。

そして手術が失敗だったという連絡を受け、急いで病院に車を走らせて行った日。全てのものが音をたてて崩れていくような……。

再手術。手術室のローカ。麻酔から覚めた後の泣き声……。
眠れない夜……。

今、思い返せば、いつの間にか過ぎてしまったような気もするが、本当につらく重苦しい日々だった。けれどこれで終わりじゃない。また、次の手術が祐太には待ち受けているのだから……。とにかく精一杯祐太を愛してやらなくては……。

=====

:*:・'° 。.:*:・'° ° '・*:..。.:*:・'° 。.:*:...*::

毎年、この時期になると、昔の日記を引っ張り出したり、昔の学級通信を読み返してみたり……。と。

サンタクロースのプレゼントのプラモデルを作って、喜んでいるゆーた。
クレヨンしんちゃんのスペシャル番組を、喜んでみているゆーた。

誰とはなく、感謝したくなる……。

ようやく待ちに待った冬休み……。
明日は友達遊びに来るらしい。疲れたね。頑張ったね。

通知表 - あゆみ - -1998/12/26(土) Vol.28-

そう言えば、2学期の通知表を見ていなかった。
静岡県浜松市では、通知表とは言わずに「あゆみ」と言う。
呼び方は地方地方によって違うみたいだ。

で、相対評価ではなく、絶対評価……。ということだが、そうでもないらしいという噂も聞いた。ただ、これはあくまで噂の域を出ないので、何とも言えない……。

各教科がさらに4つほどに分類され、それぞれ「 、 、・ 」で表されている。(よそではA B Cで表す所もあるみたいだが……)

・
国語 2 2
社会 3 1

算数 2 2
理科 1 3
音楽 1 3
図工 4
体育 1 2

行動の現れ、も良いところには がつく。

「よく考えて行動し、正しいと思うことは粘り強くやり通す」

「仲良く助け合って仕事をする」

に がついていた。

後は、所見欄として「学習」「特別活動」「学校から家庭への連絡」に色々と記入されていた。

いやぁ、学校の先生ってホント大変だわ……。

「所見欄」

かつては僕もそうした「通知表」なるものを書いていたっけなぁ、と人ごとのように思ってしまったり……。

他にも就職試験や、受験の際に先方に出す調査書には、ホント頭を悩ませた。

「ホントこいつはうるさいやっちゃ……(;)」

「明るく元気で活発である」

「無口で消極的で、困ったモンだ……(;)」

「物静かで、落ち着いて行動することができる」

「こいつは、口答えばかりしおってからにい……(;)」

「自分の考えをきちんと主張することができる」

「いろんな事に首を突っ込んでえ。少しは引っ込んでろお！ (--;)」

「人が困っていたりすると、黙って見過ごせない性格である」

……他にもあげれば、切りはないが、「悪いことは書けない」もんだ。

まぁ、先方にしたって、言葉通り受け止めることはまずないし……。

中学から来る、調査書にしたって、言葉の裏を読むようなことばかりしていたモンなぁ……

だから性格が歪んでしまったのかも……。 (^_^)

いやぁ、何カ月ぶりだろう。町に出かけてお酒を飲んだ。

今日は、女房に駅まで車で送らせた！！

わっはっははははははははは、はぁはぁはぁはぁ……・

年賀状・窓拭き・配水管 -1998/12/27(日) Vol.29-

ハードディスクの中には、住所録データも入っていたのだった。

そのことを年賀状を作り始めたら気がついた……。

しまった……。 (;)

昨日から年賀状作りを始めた。今年は取りかかりが早い！

というのも、パソコンに向かっていると、女房に遊んでいると思われて、直ぐに仕事を言いつけられるからだ。

んなら、「おい、年賀状つくらんといかんぞ！」と合法的にパソコンに向かう手段として、「年賀状づくり」始まったのだった。

いつもなら、31日にあぁ、書かないとなぁと腰をあげるのだが.....。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*..。：*：*！° 。：*：*...*：

午前中、友達と遊びたい、とゆうたが女房に言った。

「だって窓拭きやる日でしょ、今日は」

「午後になったらやるよ」

で、午後になった。

また別の友達から、電話があった「遊びに行つて良い？」と。

「窓拭きをやつたらいいよ」と女房。

「んじゃあやるよ。パパ早くやろう！」

と、さっさと窓拭きを始めた。

ゆうたが塗れ雑巾で、僕が乾拭き。

勿論手の届かないところも一杯ある・・・。

ほほお、それなりにしっかりできるようになったじゃないか！

と感心したり、オイオイ、もっと丁寧にやれよなぁ、と思ったり。

さっさとやってしまった。

「ねえ、今日の大掃除の給料はいくら？」とゆうた。

「そうねえ.....。ディズニーランドのチュロスでどう？」と女房。

「うん、いいねえ」

ということで、300円(?)だった。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*..。：*：*！° 。：*：*...*：

少し前から、食器の洗い物をしているとき、水の流れが随分と悪くなっていた。

早く何とかしないと危ない、と思っていたが、やはりあのヌメヌメが、何とも言えず、ついつい先延ばしにしてしまっていた。

今日は、窓拭きの勢いに乗って、その後、配水管の詰まりを掃除した。

うわぁ、出てくるわ、出てくるわ.....。

これじゃあ詰まるはずだわ！

とつい、納得してしまうほど、ゴミが詰まっていた。
こういうのは始めてしまうと、とことんやらないと気が済まない。

いやぁ、スムーズに流れるようになった。
ウン、気持ちが良い！

毎年恒例となってしまった、ディズニーランド。
そんな毎年行かなくなつて……、と言われても。(^^ゞ
チュロスを食べるのを楽しんでいます。 ゆーた
マイクロワールドを頑張るぞ。 O S M

みくろあどべんちゃあ -1998/12/28(月) Vol.30-

行ってきました。ディズニーランド。

去年は30日に行って、雨にたたられ、しかもとっても混雑。
今日はとっても暖かく、人も去年、一昨年に比べればずっと少なかったからとっても良かった、とまずは概論。

7時の浜松発のひかりに乗ると、9時にはディズニーランドに着いている。
まずは、マイクロアドベンチャーに！という僕の願いが叶って行ってはみたが「100分待ちです」という案内に、あえなく却下されてしまった。

「牛ヒレステーキ赤ワイン蒸し」
で、お決まりの「スターツアーズ」から、「カリブの海賊」へと。
その後、少し早いけれど、昼食に。
「落ち着いた場所で食べたい」という女房の意見で、「カリブの海賊」から見える「ブルーバイユー・レストラン」へ。11時過ぎだから、空いていた。

メニューを見て、目が点。高い……。
女房は、「シーフードドリアなんかがおいしいよ」と言うが、「牛ヒレステーキ赤ワイン蒸し」を主張してゆーたは譲らない。

結局、僕がシーフードドリアにした。（ ; ）

アンビリーバボー、の影響
毎年ゆーたが楽しみにしているが、ホーンテッドマンション。
いつも真っ先に行こう、行こう！と言うのだが、今年は尻込みしている。

あれれれれ……？

他もそうだった。カリブの海賊を初めとして、しきりに女房にしがみついくことが多い。

はは～ん。

「ゆーた、怖いんだろう？」
「わかった、アンビリーバボーの影響だろ？」

「……ウン」と小さな声で答えが返ってきた。

毎年、同じ所に行って、アトラクションも変わっていなくても、それを見る側は確実にその一年で変わっているのだ……。

小さな子ども向けのトイレ
途中、おなかの調子が悪くなってトイレに行った時のこと。
3歳くらいの小さな子が、足をバタバタさせている。
外ではお母さんらしい人が「一人でできるよね～」という声。

便器が高くて、オシッコができないで困っていたのだ。

僕のお腹も次第に暴れ始めていた……。

ようやくトイレが空いた。
「オシッコ……？」
「ウン」とうなずくその子。
「じゃあ、ここを使いなよ」

その子はすっきりした顔で出ていった。

さて、と思ったら、今度はお父さんに連れられた小さい子が……。
ははぁん、と。
「オシッコなら、どうぞ」と。
……もう少しの我慢だ！笑い顔が引きつっていたかもしれない……。

その子も用を足して出ていった……。
ようやく落ち着くことができた……。(汚い話で恐縮です！)

念願のマイクロアドベンチャー

「3時間待ちでも見る価値はありますよ」と友人に言われていた。
2時のパレード前、再びトゥモローランドへ。
「1時間待ちです」

「待とう！」
「ヤダ！」と女房とゆーた……。

「じゃ、私たちパレード見てくるから！一人で行っておいで」(--;
で、一人で見えてきた。念願のマイクロアドベンチャー！

面白かった……。
けれど、僕としてはもっともっと凄いのを期待していた。
行きたい行きたい、と言う思いが、僕の中で勝手にイメージを膨らませてしまっていたのだろう……。

乗れる日が来るのだろうか……？
「スペースマウンテン」「スプラッシュマウンテン」「ビッグサンダーマウンテン」

この3つは、一度乗ってみたいなあ、とかねがね思っているが、家族で行く限り、その夢は叶いそうにない。

女房もゆーたもその手のヤツは、ホントにだめで、

「一人で行っておいで」と言われてしまう。(。.)

一人で乗るほどアホじゃない。

その空しさを考えると、乗りたい、と言う気持ちも一瞬にして消え去ってしまう。

せいぜい、「乗りたいなあ……」と呟くことが僕の密やかな抵抗。

「来年も来たい？」

そう聞くと「ウン」というゆーた。

対象物が変わらなくても、ゆーたは毎年変わっていく。

同じように新幹線に乗り、同じように人混みの中に行き、同じアトラクションに乗っても……。

ゆーたは毎年確実に変わってきている……。

【年末の予定】

床屋に行って髪を切る。

床のワックスがけをする。

おじいちゃんの年賀状をつくる。(;)

ゆーたは「がまん」をおぼえた -1998/12/29(火) Vol.31-

「技」ではないけれど……。

ポケモンご存じない方は、ちょっと意味不明かもしれない……。

ま、いっか……。オイオイ(--;

土産物売場は、何とも言えず気持ちがわくわくしてしまう。

「こんなん、どこにでもあるジャン！」と思いながらも、つい、手が出てしまうタイプだ、僕は。

沼津の実家に行くと、ゆーたはおじいちゃんに連れられて、駄菓子やにガシャポンをやりに行くのが、一つの楽しみになっている。

直ぐに見向きもしなくなるとわかっていても……。

おじいちゃんの楽しみでもあるのだった。

「ゆーたあっ！ガシャポン行くか！」って。

昨日のディズニーランド。

着いて直ぐに、疲れが出たのか、足取りが重くなってしまった。

元気を回復させるためにも、ま、土産物屋に寄って、何か買えば……、ということで、カリブの海賊の横にあるショップに入った。

ゆーたは自分の小遣いから1500円ほど持ってきていた。

……

随分見て回ったが、どれも今ひとつみたいな様子……。

「気に入ったのがないんだろ？」

「ウン……」

「ここで変なのに飛びついちゃったら、本当に欲しいものが買えなくなっちゃうと思うんだけどなぁ……」

「……」

「ゆーたはスモールソルジャーズが欲しいんだろ？」

「ウン」

「んじゃ、お正月のお年玉を足せば、買えると思うんだけどなぁ……？」

「でも、ゆーたが欲しいもの、パパはよく分かるんだねえ」

「そりゃ、そーさ」

と言うことで、何も買わずにショップを出た。

おおおおおおお、おおおおおおお！

偉くなったじゃないか！

と内心感心してしまった。

今までは、こんなじゃなかったのにな……。

【今日の喜び】

ポストペット2001を手に入れた。(^^)/

以前のペットは、ハードディスクと共に、消えてしまっていたから……。

早速、自分宛に送ってみたが、なかなか帰ってこない……。(--;

1998年の終わりに -1998/12/30(水) Vol.32-

「目撃！ドキュン・人生波瀾万丈！」

9時になった。

「29年ぶりだモンなぁ、感動だなぁ……」

と言いながらゆーたは2階に上がってきた。

下では、特におばあちゃんがこの手の番組が好きだ。

しかもコタツがある。

2階にコタツは置いてない。買ってもない。コタツなんかを買ったら、ますます僕が布団で寝なくなってしまうからだ、と女房が言う。

コタツに入りながら、うたた寝したり……。ゆーたはそんな下での生活が気に入っている。

「今日は、な～ぁんと、2時間半も『目撃！ドキュン』をやるのであった！」と新聞のTV欄にボールペンで線まで引いて楽しみにしていた。

「感動するなぁ……」

「悲しいなぁ……」

そう言った言葉が、今年はゆーたの口から随分と聞くようになった。

現実の生活では、まだまだ「？」だが……。

「大搜索スペシャル'98 あの人は今!?歌謡大賞」
2階の僕たち夫婦は、つついTVに見入ってしまった。
いやあ、出てくるわ、出てくるわ。
懐かしい当時のニュース映像と共に、僕たちが小学校や中学校、高校だった頃の歌の数々……。

すっかりタイムスリップしてしまった。

「水色の雨」「ナオミの夢」「ベガサスの朝」「京都の恋」「大都会」。フィンガーファイブにベイシティローラーズ、ヘドバとダビデ……etcetc……

でも、でも……。
下手になった歌を聴かされると、何とも言えず寂しくなってしまった。
特に八神純子(字は?)の歌、クリスタルキングの「大都会」。
音が上がりきらなかったり、声の張りが無くなっていたり……。

かつての澄んだ声はどこへ行ってしまったんだ!

そりゃ、10年も20年も同じであるわけがない、と分かっているつもりでも、その頃の風景が、壊れていってしまうような錯覚に陥ってしまうのだった。

……年を取った証拠だな、そう思いつつ、ゆーたと同じ年の頃の自分を思い出すともなく思い返していた。「あの頃」など存在せず、「明日」しか無かった頃の自分を。

平凡な生活……

小学校5,6年生の担任の先生が言っていた。
「平凡な生活が良いのよ」
わけの分からない顔をしている僕たちに
「いつか分かる時が来るわよ」
とその先生は笑いながら言った。

人に言わせれば、僕の人生は決して「平凡」とは言わないだろう。
毎年、毎年新しいことを始め、あちこち飛び回り……そんな生活をずっとしてきた。

今年はホントに家にいるようになった。
当初予定されていたゆーたの手術もしないで済んだ。
家族が大きな怪我や病気をすることもなかった。
穏やかな一年だったと思う。

こうした日常をこの上なく大切だと思うと同時に、今、こうしている時でも、どこかで、言われのない理由で奪われていく「幼い命」のことを思う。

「人生の河は、ゆっくりゆっくり渡らないと
子孫のことが見えなくなる」

(イロコイ族の言葉)

『生まれてきて良かった』と言える地球を。
『生まれてきて良かった』と言える人生を……」

……今年一年、ありがとうございました。
来年もたくさんの笑顔にあえますように……

【今日の出来事】
床屋に行って髪を切ってきた。
「どう？」と家に帰って女房に聞いたら、
「顔がでかくなった！」と言われた……。(;)

お墓参り -1998/12/31(木) Vol.33-

11時頃、親子三人でお墓参りに行って来た。
本当なら、ゆーたの3つ下、7歳になるはずだった。
男の子だった。

泣き声をあげることもなかったその子を、僕一人で火葬してきた。

「れば」「たら」はないとわかってはいても、もし、その子が元気に育っていたら今頃、我が家はどんな
だったろうか……？

ゆーたはどんなお兄ちゃんになっていたろうか……？

女房にしてみれば、今でもその子の話に触れたがらない。

誕生の瞬間しか実感を得られない父親と、お腹に赤ちゃんができたときから、親になる「母親」の違いだ
ろうか……？

本当に思いだしたようにしか行かない、お墓の前で手を合わせながら、そんなことを考えていた。
そして、僕たち家族を見守っててください……。と。

やはり書き続けてしまいました。
HPから考えると、なんだかんだと3ヶ月以上にわたって書き続けてきた
この日記。まぐまぐが休止していても、書きつづるのが習慣になってしまいました……。
ということで、ご迷惑かもしれませんが、1月4日にまとめて送らせていただきます。